



# オリーブ通信

2024年  
7月号  
2024. 7.20 発行  
第267号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

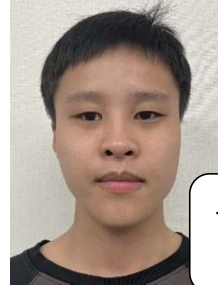
あたらしい なかまです。どうぞよろしく☺ (6月入会)



ゲン ゴック オーア  
ヴェトナム



アラカキ デニゼ サクリ  
ブラジル



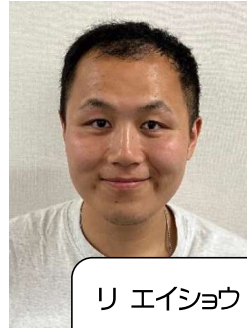
チャン ヴァントアン  
ヴェトナム



コダマ Dゼリ アンジェリカ  
ブラジル



ホウ ホウ  
中国



リ エイショウ  
中国



ウチマ タマシロ アレックス  
ブラジル

こんばんは

中川先生のヘンテコ日本語

165



筆者は通勤に地下鉄を利用しているのだが、仕事帰りに始発駅で電車の発車を待っていたところ、向かいの席から外国人の一人が筆者の隣に座り、スマホを指し示した。「この電車は〇〇駅に停まりますか」と書いてあった。翻訳アプリを使ったのだろう。なにも私のところまで来なくても、ほかに日本人はいたのにも思ったが、筆者が「お助けマン・オーフ」でも出していたのだろうか。「停まりますよ、ここから駅です。」と英語で返答した。

その外国人が電車を降りる奇、「こんばんは」とお礼を述べて行った。日本語レベルも測れるが、予想外の言葉に度肝を抜かれた。その外国人は、筆者に最大の配慮してくれたのだと思っ、心が暖まった。その言葉は、学生時代フランス語を勉強していた際、フランス人の先生が授業が終わると、Bon soir と挨拶してさうじやったのを思い出した。つまり「よい夕方をお過しください」や「気遣ってください」なのだ。Good morning や Good afternoon も同じ意味合ひを持つ。

日本語の「こんばんは」は、夕方から夜の出会いの挨拶でしかないが、英語の Good evening やフランス語の Bon soir には「ミニケーション」上重要な機能が隠されているようだ。「お疲れさま」と別れてしまえば、一日が終わってしまふ。そもそも筆者のゆうな仕事が終わって、うちに帰って寝るだけとくごきには、Good evening なんて似合わないかもしれないが。

次の日「一日の授業が終わって、学生たち「こんばんは」と言ってみたが、なんだかしっくり来なかった。言葉には、それぞれの文化が隠れているようだ。

この小文をお読みくださった方々、こんばんは。

## オリーブ 30 周年

### 記念事業第一弾！特別講演会

技能実習制度から育成就労制度へ

～日本語教育の重要性～

講師：齊藤善久氏(神戸大学大学院国際協力研究科 准教授)

#### <概要>

「神戸移民連絡会」という支援機関を立ち上げて、職場で残業代の未払、労災の不適用など仕事先でのトラブルに直面するベトナム人技能実習生らの支援をしてきた。送り出し機関でじゅうぶんに勉強できなかった実習生はほとんど日本語が話せないまま日本にやってくるので、トラブルがあっても会社と交渉することができない。そのため日本のベトナム人とネットで連絡を取り、その結果さまざまな犯罪に巻き込まれることも少なくない。

今年6月に育成就労法が成立し、来日のためにN5程度の日本語力、さらに特定技能1号に移行するためにはN4程度の日本語力が必要となり、日本語教育の重要性が増す。

しかし、育成就労法も「人材育成」を掲げながら実際には労働力不足を補うため実習生を単純労働への従事させる可能性がある。この問題の根源には、直接雇用から派遣雇用さらにスポット雇用への雇用形態の移行、外国人労働者・高齢者の安価な労働力としての雇用など日本の労働問題がある。

日本の人口減少が進む中、外国人に安心して働いてもらい日本に定着してもらうためには、企業が人材を育成する姿勢をもつことと、日本の地域社会が外国人を受け入れていくことが必要だろう。外国人が愛着を持って日本のコミュニティに入っていくために、日本語教育の役割が欠かせない。

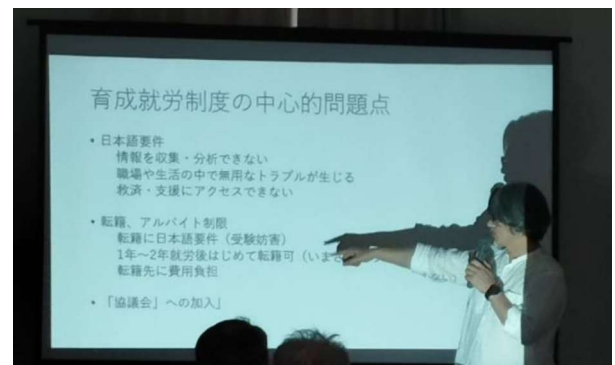
(レポート 福井えり)

#### <講演会の様子>



参加者 41名

(オリーブ会員 20名 一般 21名)



質疑応答も絶え間なく続きました。

#### <参加者のアンケートより>

- ・具体的なお話を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・実際の実習生の現状、帰国後の問題も分かり参考になった。
- ・日本語を教えることが手助けになる事がわかってよかった。
- ・日本以外で良い制度がある国があるのなら知りたい。
- ・新制度の問題点がわかった。皆さんの質問も勉強になった。etc..

## 中川さん 学生に語る

立命館大学で講演

7月8日立命館大学で「地域参加学習入門」という連続講座のゲストスピーカーとして、オリーブの中川正幸さんが350名の学生に向け講義を行いました。この科目は学生の地域参加の入り口として設定されているもので、ここで学んだことから関心を持った分野に積極的に関わるようになれば、市民活動団体の担い手不足の一助ともなり、多様な人との交流でコミュニケーション力もつく、また就職にも有利と、一石二鳥も三鳥もねらっている科目なのです。



さて、中川さんのお話は、導入として世界丸ごとクイズ、日本の人口に外国籍住民の占める割合や、どんな人が日本に住んでいるかなど世界や身の回りに目を向けさせた後、オリーブの活動についての紹介がありました。その後自身のこれまでの経験から、JICA 隊員としてアフリカで4年間活動したこと、ピースボートで世界を回ったことなど、なかなかおもしろい話が始まり、あらためて中川さんという人に出会ったような新鮮な心地がいたしました。後日学生たちの感想を読ませてもらうと、しっかりと中川さんの話をうけとめ、オリーブの活動にも関心を持ってもらったことがわかりました。

これでボランティアに来てくれる学生が増えればということなし!!

(聴講 恩地美和)

## 津市初期日本語教室「きずな」見学研修会に参加して

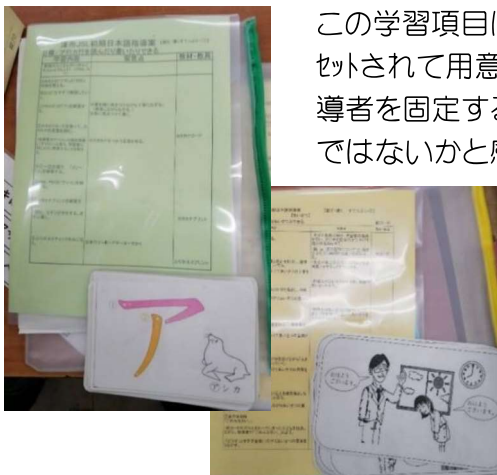
=7月8日(月)=

見学研修会参加者16名は、草津市役所噴水前に8時15分に集合。これから始まる一日の熱さを既に思わせる日差しの中、一行はバスで三重県津市に向かった。私が今回の見学研修会に出席した目的は、日本に住んでいる外国籍の子ども達が、どのように日本語を学んでいるのか見てみたかったから。見学先の日本語教室「きずな」は津市立敬和幼稚園の中にあり、この幼稚園と敬和小学校は同じ敷地内、東橋内中学校は道を隔てた反対側にあり、日本語を学ぶ子ども達が日本語教室と学校を行き来するにはとてもいい場所にあることが分かった。又、驚くことに敬和小学校の7割の生徒が外国籍の生徒だということだった。

我々が到着した時は、小学1年生のフィリピン人女子と中学3年生のベトナム人男子がボランティアの先生とマンツーマンで日本語を勉強していた。我々見学者が輪になって座ると、もう一人の先生が二人の子ども達の耳元で何か言葉を話し、子ども達は聞き取った言葉をマンツーマンのボランティアに伝えるコミュニケーションゲームをみせてくれた。はにかみながらも、楽しんで日本語を伝える姿に少し安心した気持ちになった。

「きずな」の普段の授業は、日本語教材が「話す・聞く」、「読む・書く」の二つに分かれており、段階的に習得できるようになっている。そして、その二つの教材は、65、87の学習項目に細かく分かれていた。

この学習項目はパックと呼ばれ、その項目の教案や絵カードがその名のとおりにケースの中にセットされて用意してあった。このような教材を初期の日本語学習に使えば、教える側の指導者を固定する必要も無くなり、指導経験が浅くても安定した質の学習が可能になるのではないかと感じた。実際、一人のボランティアの方は、全く日本語教育のパッケージはなかったが、安心して教材に沿って教えられるとおっしゃっていた。この教材を作成したきっかけは、外国籍の子ども達が増えてきたため、短期間で習得する方法として必要にせまられ、教育委員会や市の協力を得て作成したようだったが、教材作成にあたってはかなりの時間と労力がかかったであろう。三重県内では、「きずな」のこの教材を使っているところもあるようなので、今後の地域日本語教育を進める上で、このような教材を使用することも選択肢の一つかも知れない。(レポート 西垣雅章)



## 🍷先月の活動（6月）

日本語教室 6/1、8(M)、15、22、29  
イベント班打ち合わせ 6/1、8、22  
パーティー班打ち合わせ 6/15、29  
冊子班打ち合わせ 6/15  
スピーチ班打ち合わせ 6/29

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ( )内は参加者、または 参加予定者。敬称略

## 🌻今月の活動（7月）

日本語教室 7/13(M)、20、27  
7/8(月) 立命館大学「地域参加学習入門」  
ゲストスピーカーとして参加(中川正、恩地)  
7/8(月) 津市初期日本語教室「きずな」見学研修会  
(杉山仁・西垣雅)  
7/14(日) 30周年記念講演会

## 👤参加人数（6月）

月日	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29
学習者	31	33	27	25	30
スタッフ	25	25	23	24	24

## 7月15日付けの京都新聞に

記事が載りました!!

滋賀版のページに、オリーブのことと  
日本語教育の大切さ、必要性についてかかれて  
いました😊

## 👤会員の動き（6月）

〈新入会〉寺田怜美さん(6/22)  
〈休会〉なし  
〈退会〉なし  
〈賛助会員 笹尾陽子さん(5月)  
田中一美さん(6月)



寺田怜美(てらだ れいみ)

愛知県出身、大学一年生です。  
好きなことは食べることで、  
カフェ巡りが大好きです。人と関わることが  
好きなので、活動がんばります!  
よろしくお願いします。

## オリーブ 30周年記念パーティー

日時:8月25日(日)12時~15時

会場:ボストンプラザホテル3階

リンカーンボールルーム

先生、生徒 1000円 家族 3000円(小学生以下 1500円)  
友人知人 6000円

ランチbuffetはひめ、アトラクション・ゲームなどなど

楽しいイベントもりだくさん🍷🍷

編集後記 初めて担当しましたことでわかったこと、それは知ら  
なかったことが多いこと。初めてに感謝。皆様の御協力に感謝♥NN

ケンジさんの俳句 七月

ケンジ

黒羊迷い込みたる木下闇

